

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-10

4-IV-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	地域の「語り部」育成
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	10 地域の「語り部」育成支援	事業主体	佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】	○ 佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を、地域の子どもや来訪者に紹介する「語り部」を育成し、郷土愛の醸成と地域の魅力発信を図る。	
	【事業内容】	○ 島内各地の公民館講座で「語り部」育成講座を設置し、保育園・学校・宿泊施設等での発表機会を設ける。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館講座や自主講座の活動の中で、佐渡金銀山に関する民話や物語等を受講生や参加者の方々に伝承する。 ※赤泊民話語り部の会や図書館ボランティアグループ等に声かけしながら、高齢者学級や学校等で佐渡金銀山の語り部、昔話、読み聞かせを行う。(5回)	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響で、語り部の会の活動が自粛となり、また赤泊小で開催予定だった読み聞かせ等も実施できなかった。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルスの感染対策を図りながらの開催方法等を検討する必要がある。 ■ 金銀山や民話の関連地区のみならず、全地区で金銀山に関する物語や民話を広める活動を行う必要がある。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他団体の協力を得ながら、公民館講座や親子ふれあい事業、学校等で佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を多くの住民に伝える。 ■ 赤泊小の児童や保護者を対象に金銀山の昔話を行う。 ■ 図書館ボランティアグループのイベントの1コマで金銀山の昔話等を行う。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できなかったことからCとした。	
	【事業実施の効果】	[a・b・c]	
	【総合評価】	[A・B・C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。